

研究課題名「分化型甲状腺癌のアブレーション後シンチグラフィ所見の検討」 に関する情報公開

1. 研究の対象

2011年1月1日～2019年3月15日に当院で甲状腺癌の術後アブレーション治療を受けた方

2. 研究目的・方法・研究期間

目的：分化型甲状腺癌の全摘・準全摘術後の放射性ヨウ素(I-131)を用いたアブレーション治療は再発予防を目的として日本で広く行われています。治療後にシンチグラフィを撮像することで残存甲状腺の有無や転移巣の有無を診断することができます。本研究では、アブレーション後のシンチグラフィにおいてどの部位に放射性ヨウ素が集積していたのかを後方視的に探索します。

方法：2012年1月1日～2019年3月15日に甲状腺癌の全摘・準全摘術後に当院で放射性ヨウ素を用いたアブレーション治療を受けた方の治療後シンチグラフィの画像所見や採血データ、臨床経過などの情報を、個人情報削除された状態でデータを収集します。

研究期間：実施承認日～2024年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、治療経過、採血データ（甲状腺ホルモン、甲状腺刺激ホルモン、サイログロブリン、抗サイログロブリン抗体）、画像所見（CT・MRI・PET・シンチグラフィ）等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし学会発表・論文として公開されたデータについては削除できない可能性があります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科 量子医学

准教授 岩野信吾（研究責任者）

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

TEL: 052-744-2327